



## イソップ12の物語

リスベート・ツヴェルガー 絵 イソップ 原作  
吉田 新一 訳

太平社 1990年 絶版

1冊 26×28cm

ツヴェルガーの描く絵本の主人公はどこかおしゃれで、大人びた雰囲気を持っています。このイソップ物語の登場人物、動物たちにもその魅力が余すところなく描かれ、洗練されたツヴェルガーの世界を楽しむにはもってこいの作品です。まるで薄桃色の額縁の中に描かれた1枚の絵を見るように構成されたそれぞれのお話は、子どもたちの絵本の世界を広げてくれるに違いありません。「ウサギとカメ」を見てください。ゼッケンを付けたウサギが道端で寝ています。遙か後方をカメが懸命に歩いてきています。ウサギはウサギらしくカメはカメらしく、けっして子どもに媚びることなく描く、それがツヴェルガーの絵本です。



## いたずらきかんしゃちゅうちゅう

バージニア・リー・バートン ぶん・え  
むらおか はなこ やく

福音館書店 1961年 1155円

45ページ 31×23cm

小さな町の小さな駅から、大きな町の大きな駅まで、毎日走っているちいさな機関車ちゅうちゅう。ある日ちゅうちゅうは考えました。「わたしひとりなら、もっともっと速く走れるんだ。そうしたら…『なんてきれいなすてきな機関車だ！あれ ごらん。ひとつだけで走っているよ』ってみんながいうでしょう」ちゅうちゅうはスピードを出して走ります。驚く人々をながめながら、ちゅうちゅうは踏切を通り抜け、跳ね橋を飛び上がって、駅の操車場に飛び込み、とうとう古い古い線路に入り込んで止まってしまいます。わくわくと不安でいっぱい冒険が黒コンテの線画でダイナミックに描かれ、絵にあわせたリズムカルな文章と動きのある文字は乗りもの絵本の傑作といえます。